



2024年10月15日

各 位

会社名 東宝株式会社
代表者名 代表取締役社長 松岡宏泰
(コード番号 9602 東証プライム、福岡)
問合せ先 上席執行役員
コーポレート本部経理財務担当 加藤陽則
(TEL. 03 - 3591 - 1218)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において2024年4月15日に公表した業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2025年2月期通期業績予想数値の修正 (2024年3月1日～2025年2月28日)

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (2024年4月15日発表)	百万円 280,000	百万円 55,000	百万円 57,000	百万円 39,000	円 銭 223.50
今回修正予想 (B)	297,000	62,000	60,000	40,000	234.26
増減額 (B-A)	17,000	7,000	3,000	1,000	-
増減率 (%)	6.1	12.7	5.3	2.6	-
(ご参考) 前期実績 (2024年2月期)	283,347	59,251	63,024	45,283	259.51

(2) 修正の理由

主力の映画事業において「変な家」「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」「キングダム 大將軍の帰還」「ラストマイル」等の大ヒットに加え、前連結会計年度からの続映となる「劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」が興行収入115億円超と想定を超えるヒットとなりました。また世界的ヒットとなった「ゴジラ-1.0」の配信プラットフォームへの販売が国内・海外とも大きく伸びました。TOHO animationでは「ハイキュー!!」「呪術廻戦」「僕のヒーローアカデミア」「怪獣8号」での国内外の配信、商品化権、グッズ販売等の各種事業展開が好調に推移し業績を牽引いたしました。

こうした状況に加え、下半期の事業見通しや直近の業績を踏まえた結果、営業収入、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表の予想を上回る見込みとなりました。

(注) 上記業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであって、様々な不確定要素が内在しており、その実現を確約するものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

以 上